



宝塚市立良元小学校 学校通信

# 良元通信

家庭数  
配布

令和6年(2024)12月12日号

校長 狩野 洋光

## すばらしい歌声と合奏をお聴きいただきました♪

音楽会にお越しいただきありがとうございました。子どもたちは、本番の直前まで、さらに良い合唱や合奏となるように練習をくり返してきました。気持ちよく歌える日、演奏できる日ばかりではありません。うまく歌えなくて、弾けなくて、くやしかったり、あきらめそうになったこともあったのではないのでしょうか。お家でも、くり返し練習する姿、「楽しみなんだ!」とワクワクする姿、「やだな～」と弱音をはく姿、いろんな姿が見られたのではないのでしょうか。ひとつの行事に向かい、子どもたちは心を動かします。心はずむ日も心しずむ日も、お家の人に話を聞いてもらったり、そっと見守ってもらうことで、子どもは自分自身で考え、成長していくのだと思います。お子さんがお家に帰った日には、たくさんほめていただいたことと思います。ありがとうございます。

学校では、友だちの良さや頑張りに気がつくことを大切にしています。運動会や音楽会といった大きな行事は、とくに見つけやすいかもしれません。「〇〇さんの歌声って素敵だな」「〇〇さん、どんどんじょうずになっているよ」「〇〇さんと一緒に練習できて楽しかった」「〇〇さんが教えてくれたよ」また、自分の良さや頑張りにも目を向けてもらいたいものです。「練習をがんばりぬいたよ」「うまくできたよ」「失敗したけど、最後までがんばったよ」「友だちに声かけしたよ」「ありがとうって言ったよ」行事を通して見つけたことや考えたことをふり返り、自分自身の成長を自覚させていきます。

最後に、音楽会当日は、私事でお休みをいただきました。本番当日の発表を聴くことができず大変残念でした。また、保護者の皆さんには、子どもたちのこれまでのがんばりをお伝えできなかったこと、ご来校のお礼を伝えることができませんでしたこと、お詫び申し上げます。

## 12月、二学期のまとめの季節です

暑い中、始まった二学期もあとわずかとなりました。また、朝夕はひととき冷え込むようになりました。手袋やマフラーなど、子どもたちの装いにも、冬の到来を感じます。寒くなってきましたが、それでも、子どもたちは登校後、運動場に出て、ドッジボールや鬼ごっこをして、元気に遊んでいます。

12月10日(月)から、個人懇談が始まっています。お子さんの成長をテーマに、伸びたところや課題について学級担任と対話していただき、子どもが安心して自ら育つことができる環境づくりを共につくっていきましょう。宜しく願いいたします。

## 声かけ変換表 ～ 言葉かけて子どもは変わるかも!?

「何回言ったらわかるの!」「もう!!」こんなこと言いたいわけではないのに…。どうしたら親の思いが伝わるのでしょうか? そんな時、言い方を変えるだけで、お互い楽になるかもしれません。(楽々かあさんの伝わる声かけ変換より)

「ちょっと～! 聞いている?」 → 変換 → 「見て。あのね…」

「〇〇しちゃダメ!」 → 変換 → 「〇〇しよう」

「いい加減にきなさい!」 → 変換 → 「あと何分で終われそう? → 終わったね」

子育て奮闘中の親御さんに向けての変換表もありました。

「また怒ってしまった」 → 変換 → 「しゃあない、しゃあない、あるある～」

「自分はダメな親だ」 → 変換 → 「自分のがんばりすぎている親だ」

「子どものため!」 → 変換 → 「自分は自分、子どもは子ども」

「楽々かあさんの伝わる声かけ変換」で検索していただくか、

QRコードにアクセスしていただきますと、

ほかの声かけの例を見ることができます。

ご興味のある方がいらっしやいましたらどうぞ。

(昨年度も紹介させていただきました)

⇒

